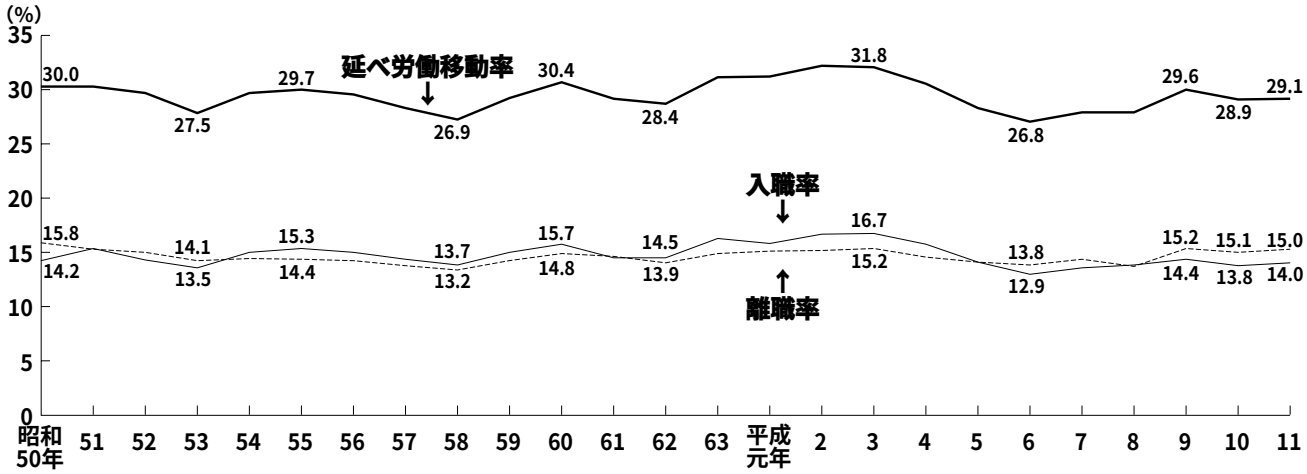
# 平成１１年雇用動向調査結果（速報）

**労働移動の状況**
**－3年続けて離職が入職を上回ったが，離職超過幅は縮小－**
**－入職者・離職者ともパートタイム労働者の占める割合が3割以上－**

(1)　平成11年の延べ労働移動者は約 1,206万人（入職者約583万人，離職者約623万人）となり，延べ労働移動率は29.1%（前年28.9%），入職率は14.0%（同13.8%），離職率は15.0%（同15.1%）となった。入職超過率をみると，3年続けて離職が入職を上回った（離職超過）が，離職超過幅は縮小した。
（第1図）

**第1図　労働移動の推移**



（注）平成３年からは建設業を含む。

(2)　入職・離職率を男女別にみると，男は入職率が11.7%（前年11.2%），離職率が12.4%（同12.3%），女は入職率が17.7%（同18.1%），離職率が19.1%（同19.7%）となり，男女とも離職超過となった。

(3)　入職・離職率を就業形態別にみると，一般労働者は入職率が11.1%（前年11.4 %），離職率が12.7%（同13.0%），パートタイム労働者は入職率が27.9%（同28.4%），離職率が25.9%（同27.8%）となった。パートタイム労働者を前年と比べると，入職・離職率とも低下したが，労働移動は引き続き活発である。入職超過率をみると，一般労働者は－1.6ポイントで離職超過，パートタイム労働者は2.0ポイントで入職超過となった。

(4)　パートタイム労働者の常用労働者に占める割合は17.4%（前年14.2%），入職者に占める割合は34.6%（同29.2%），離職者に占める割合は30.0%（同26.1%）となった。
　前年と比べるとそれぞれ3.2ポイント，5.4ポイント，3.9ポイントと大幅に上昇した。

(5)　主な産業別に入職・離職の状況をみると，入職率はサービス業16.5%，「卸売・小売業，飲食店」16.0%，建設業14.2%，製造業10.3%となり，離職率はサービス業16.7%，「卸売・小売業，飲食店」16.6%，建設業15.0%，製造業12.7%となった。製造業，建設業，「卸売・小売業，飲食店」，サービス業のいずれも離職超過となった。

資料：労働省